

注意報第9号

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者
} 殿

福岡県病虫害防除所長

平成18年度病虫害発生予察注意報第9号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第9号を発表したので送付します。

茶

- 1 病虫害名：**カンザワハダニ**
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生時期：早い
- 4 発生量：多い

5 注意報の根拠

- (1) 2月5半旬の調査では、茶樹表層におけるカンザワハダニの寄生葉率は2.8%と平年、前年より高い。また、表層の50葉当たり寄生虫数も2.5頭と平年、前年より多い(図1、図2)。発生ほ場率は表層では46.2%(平年24.7%、前年58.3%)と平年より高い。
- (2) 越冬後第1世代孵化幼虫の発生ほ場率は15.3%と平年、前年より高く、発生時期は早い(図3)。
- (3) 向こう1か月の気温は高いと予想されており、今後も発生量が増加することが予想される。

	寄生葉率(%)		50葉当たり寄生虫数(頭)		孵化幼虫発生ほ場率(%)
	表層	裾葉	表層	裾葉	
本年	2.8	4.2	2.5	4.0	15.3
前年	2.3	6.2	2.2	6.3	8.3
平年	1.2	3.1	1.4	5.5	10.7

注) 寄生葉率(裾葉)、50葉当たり寄生虫数(裾葉)、幼虫発生ほ場率の平年値は前7か年の平均

6 防除上注意すべき事項

- (1) 2月5半旬調査の結果、越冬成虫の産卵や孵化幼虫の発生が平年より早いので、春期基本防除を繰上げ産卵数増加前の3月上旬を目処に行う。また、発生には園地間差が認められるので園地を確認し実施する。
- (2) 薬剤は、寄生の多い葉裏・裾葉に十分かかるよう丁寧に散布する。
- (3) 今後の発生状況については病虫害防除所の情報に注意する。
- (4) 防除に当たっては、作物適用、使用量などの農薬使用基準を遵守するとともに、適正な防除圧で、飛散の少ないノズルを使用するなど周辺作物への飛散防止を図る。

